



開発建設部

那覇港では、那覇ふ頭三重城側と、那覇空港側を海底トンネルで結ぶ県内初の那覇沈埋トンネル整備事業を行っています。長さ約九十メートル、幅約三十七メートルの大きな函を海底で八函連結してできるトンネルは、現在三重城側から三号函まで沈設・接合されています。

那覇港湾空港工事事務所では、この沈埋トンネルの事業に対する必要性や重要性などを広く県民へアピールし、また、子供達の学習の場としても活用してもらうことなどを目的とした「現場見学会」及び「海の道ミニコンサート」を二月一日に開催しました。

沈埋トンネルという県内初の大プロジェクトは、県民の当施設に対する期待の強さもあり、一般公募二百人、現場見学会百五十人の募集が一日（六時間）で埋まってしまいました。

また、トンネルの外にある情報

那覇港では、那覇ふ頭三重城側と、那覇空港側を海底トンネルで結ぶ県内初の那覇沈埋トンネル整備事業を行っています。長さ約九十メートル、幅約三十七メートルの大きな函を海底で八函連結してできるトンネルは、現在三重城側から三号函まで沈設・接合されています。

那覇沈埋トンネル現場見学会

「海の道ミニコンサート」
水深24mの海底は
不思議なエコーが効いていた!!

は、「県産品ミュージシャン」のジョニー宜野湾さんが出演。「うりひやあでえじなとん」などオリジナル曲約十曲と楽しいおしゃべりでトンネル内の会場に歌と笑いが響いていました。この他、トンネル内ではビデオ上映、パネル展示などもあり、沈埋トンネルの構造や工程、世界最新の技術などを紹介、参加者は興味深げに見入っていました。

那覇港では、那覇ふ頭三重城側と、那覇空港側を海底トンネルで結ぶ県内初の那覇沈埋トンネル整備事業を行っています。長さ約九十メートル、幅約三十七メートルの大きな函を海底で八函連結してできるトンネルは、現在三重城側から三号函まで沈設・接合されています。

イベント当日は、トンネル現場近くにある天妃小学校の児童・保護者七十組、身障者の方達も招待し大勢の参加者で賑わいました。今回、お年寄りや体の不自由な方のために、現場ではスロープや手摺りなどを取り付け、安全かつ安心して見学頂けるようになり化を心がけました。

陸上に設置したテントでは、クラウン・コトラさんによる「バーレン教室」も行われ、大人も子供も皆、細長い風船で動物の形を必死に作り、うれしそうに持つて帰りました。



会場となった建設中の沈埋トンネル内部

県内初の沈埋トンネル工事は、海の中での工事とあって県民の目に触れる機会が少なく、このイベントを通して多くの人たちに関心を持っていただけたと思います。この沈埋トンネルは片側三車線・往復六車線の自動車専用道路で平成二十一年春の完成を目指しています。



受付の様子



ジョニー宜野湾コンサート



コンサートの他パネル展示も行われた